

水源 大切な水

私たちにとって、かけがえのない水が、どこから来て、どこへ行くのか

ほう！
利根川の水源が、
ついにわかったのじゃな！

見沼代用水の水はどこから来て、どこへ行くの？

見沼代用水の水は、利根川の水を埼玉県行田市の利根大堰で堰止めて水を取り入れています。その水路の延長は約80 km、管理している支線水路を含めると約190 kmにおよび、埼玉県の北部・東部地域を中心に16の市と3つの町に流域を持っています。同じ埼玉県の葛西用水、愛知県の明治用水と共に、日本の三大農業用水とされています。

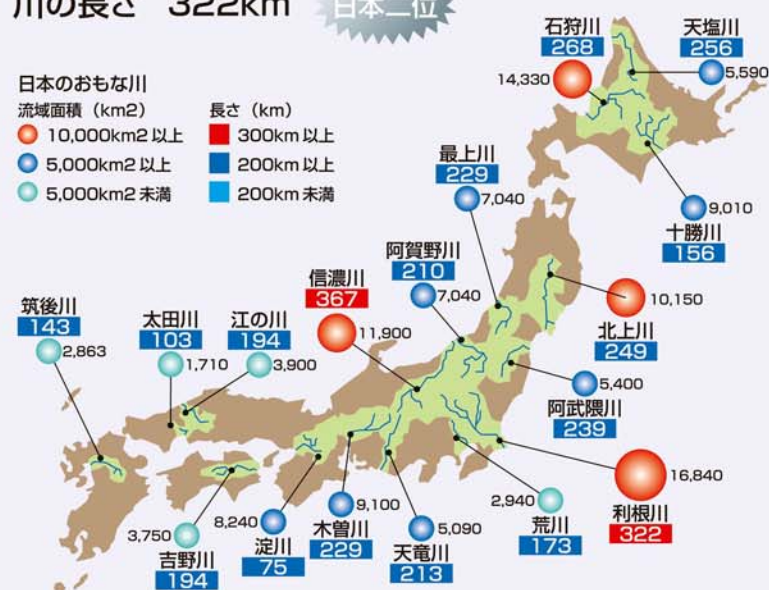


利根川のあらまし

流域面積 16,840km² 日本一

川の長さ 322km 日本二位

日本のおもな川
流域面積 (km²) 長さ (km)
● 10,000km²以上 ● 300km以上
● 5,000km²以上 ● 200km以上
● 5,000km²未満 ● 200km未満



コラム どうして利根川というの？

定説はありませんが、一説によると、巨大な谷を意味するアイヌ語の「トンナイ」からきているとのこと。これには、沼や湖のように広くて大きい川の意もあるようです。また、他には、水源地に多い尖った峰、つまり利き峰を略したとする説や、その地の大水上山の別称（刀嶺岳、刀根岳、大刀嶺岳）に由来する説、さらには等欄直（トネノアタイ）あるいは、椎根津彦（シイネ（=トネ）ツヒコ）という人名からきているという説もあります。昔から坂東太郎という別名をもつ利根川ですが、その意味は、坂東、すなわち関東で最も大きい川であり、日本の川の長男、総領の川だということです。



利根川の水はどこから来るの？

利根川の水は、標高 1,834 m の大水上山の三角形の雪渓です。長い間、謎とされてきたそのことが、ついにつきとめられたのは、昭和 29 年 (1954) のこと。第 3 回利根川水源調査団によってでした。初めて組織的な水源探検が行われたのは、明治 27 年 (1894)。しかし、そのときは水源に達することができず、その後、大正 15 年 (1926) の第 2 回の調査（水源を刀根岳（大水上山）と確認するも源流部を解明するには至らず）を経て、実に 60 年の歳月を費やしての解明となりました。地図の不完全さに加え、カモシカも避けて通るといわれるほど険しく危険な山岳探検を克服しての成果です。

利根川 その概要

そして、私たちの暮らしとの係わりについて

2,750 万人の暮らしを支える利根川の水

利根川水系の水が、生活を支える人の数は、実に約 2750 万人。その水道用水の 90% もがダムでつくられているために、過去 2~3 年に 1 回は水不足（渇水）が起こっています。ぜひ、水を大切にすることを身につけ、日ごろの生活から節水にご協力ください。

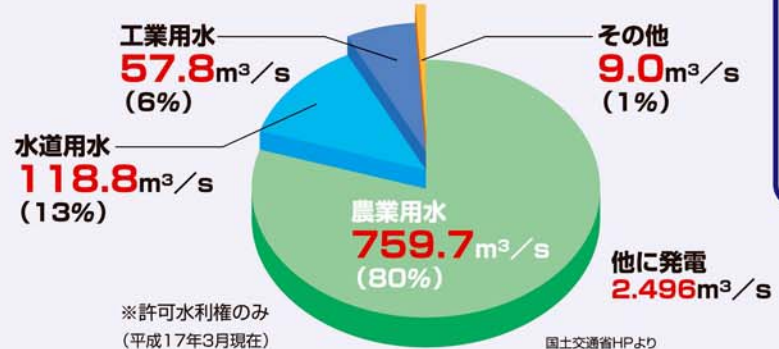
1日ひとりが使う水の量
約 **300** リットル

これは家庭用風呂
約 1.5 杯分にあたります。



利根川の水はどのように使われるの？

利根川水系の水は、水道用水、工業用水、農業用水、雑用水とさまざまに利用されています。1日換算で、水道用水供給量は約 650 万 m³（給水人口約 1,200 万人）。利根川流域農業用水灌漑面積は約 25 万 ha。取水箇所数は約 4,600 箇所、水利権量は約 1,320 m³/s に及んでいます。



なんと！
さほどに多量の水をつくり、
使うようになったのじゃな。